

# 出町茶論だより

でまち さろん

No. 83

2024.11.1



## 第16回運営推進会議

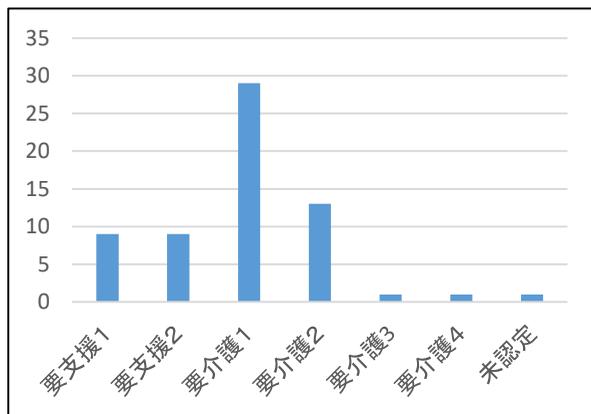
10月12日に第16回運営推進会議を開催しました。出席者は、ご利用者様、包括支援センターケアマネジャー様、老人福祉委員様、上京老人クラブ会長様、出町茶論職員で、上期（令和6年4月～9月）の運営状況の報告を行いました。

新規ご利用の方は、ケアマネジャー様の紹介やご利用者が知り合いを紹介いただくなどがありました。利用中止は入院や亡くなられた等の理由でした。年齢からくる体調不良で休まれ方が少なからずあるなど、稼働率の低い日が多々ありました。

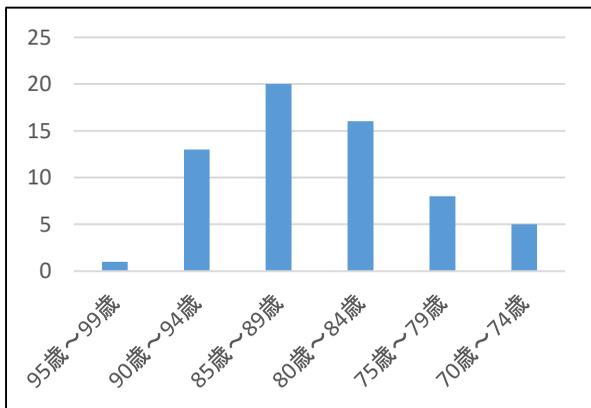
新たな取り組みとして始めたLINEグループ「出町茶論広場」は、違う利用日のご利用者同士の交流が広がり、入院された方へのお見舞いメッセージを行うなどで繋がりを大切にすることが出来ました。

同志社大学大学院生との世代間交流の開催で若い人との話し合いで元気ももらいました。

介護度は要介護2以下の方が多数になります。



年齢は平均85歳になります。



◆どうぞご利用のお問い合わせ下さい◆

出町茶論(でまちさろん)

☎075-204-4716

京都市上京区寺町通今出川上る表町21 市川ビル

<https://demachi-salon.site/>

### ◆出席者のご意見

・老人福祉委員様

今の時代60代から将来のことをそれぞれの人が自分のこととして考えていかないといけない時代になっていると思います。が、現実には60代70代になっても仕事をされていて目の前のことに忙しくされている方が多いと思います。自分が老人という意識がないような気がします。出町茶論さんがされている多世代交流は本当に良い取り組みだと思います。学生さんも年上の方に出会う機会となり、自分の将来を考えることができると思います。

・ご利用者様

主人が亡くなり、子供たちが独立してさびしくなりました。お話相手が欲しいと思って出町茶論に来ました。ここを利用するようになって、寂しさがずっと抜けました。同志社大学の学生さんたちとの交流は、楽しかったです。知らないうちにこんな年になったこと、主人がいるときは一日三食、女がせんなん時代に生きたことを学生さんたちに知ってもらいました。聞いてもらえてよかったです。

出町茶論のサービスの目的は

「ご利用者の要介護状態の発生をなるべく遅らせ、要介護状態にあってもその悪化を出来る限り遅らせて、さらに軽減を目指すために生活機能や自律のための社会参加の向上を目指し、ご利用者、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援して、生活の質の向上を目指します。」  
この考えをより意識して、サービス提供に繋げて参ります。

### 冬野菜の栽培を始めました

冬野菜のダイコン、カブの種蒔きとブロッコリーの苗植えをご利用者にもお手伝い頂きました。



ダイコン、カブは2週間後に芽が出ました。無農薬栽培で収穫が楽しみです。

### 京極ハロウィンでお菓子配り



京極学区でハロウィンのお菓子配りを行い、出町茶論も参加しました。子供たちが思い思いの衣装をして学区内6か所を回りました。親御さん含め約120名の参加があり、かわいい子供たちの歓声に包まれた1日でした。